

No.57

そよかぜ会報

NPO法人メンタルサポート野田そよかぜ 理事長 齊藤 登美生
事務所 野田市目吹2578-4 TEL: 04712553955
HP: <http://nodasoyokaze.jindo> E-mail: tsubasa@road.ocn.ne.jp

平成 29 年 4 月 20 日 発行

新年度を迎えるにあたって

理事長 齊藤 登美生

若葉が萌え出る季節となつて参りましたが、皆様方におかれましては、益々ご清祥の御事と拝察申し上げます。

当法人の利用者・職員・役員・世話人等関係者も、それぞれの持ち場・使命のもとに、一所懸命に活動展開をしています。去る、3月10日(金)には、「つばさ」・「すまいる」のメンバーさん25人、それに私と黒澤相談役を含め

スタッフ19人が参加し、羽田空港の「JAL羽田整備工場」と「スカイミュージアム(航空博物館)」にバスハイクをして来ました。8時15分に野田市福祉会館前を出発し、17時に帰着しました。「JAL羽田整備工場」では、格納庫のフロアで整備中の航空機を間近に見学し、機体を背にして「野田そよかぜ」参加者全員で記念撮影をしました。また、滑走路を離着

陸する航空機を目のあたりにして、威風堂々とした離着陸に皆歓声を上げていました。「スカイミュージアム」では、機長や客室アテンダントの貸出用制服を着用して、記念撮影するメンバーさんもいました。羽田空港食堂で、「ヒレカツ」と「刺し身」が詰まった「和風弁当」に舌鼓を打つた後、帰途につき予定通り17時に野田市福祉会館前に帰着しました。

ところで、当法人は設立後14年を経過し、事業規模が拡大しており、スタッフやグループホームの世話人等の職員が増員補強されてきました。増員補強した職員が効率よく働くことが出来、しかもメンバーさんに、優しくメンタルサポートできるようなとの思いから、4月1日付けで、次の人事異動を行いました。

(一)谷口たつ子さんを、「そよかぜハウス」の「管理者」および「サービス管理者」として専念して頂くことと致しました。平成24年に開設致しました「そよかぜハウス」の入居定員が13人にまで増員となっており、対応するべき事務や課題が増えているとともに、更なる拡充を計画しなければならぬことから、専従の管理者が必要となってきました。そこで、開設当初からそよかぜハウスの仕事を手掛けてきた谷口 たつ子さんに、専従して頂くこととしました。なお、谷口さんは、精神福祉士の有資格者でもありますので、「つばさ」の運営とメンバーさんへのサービスのあり方等について、時宜によりアドバイスを頂いていく事となっております。

(次ページに続く)



(二) 従来、谷口 たつ子さんにお願ひしてきた「つばさ」の「サービス管理者」と「四つ葉のクローパー責任者」には、下川 典子さんにお願ひすることと致しました。

ところで、「そよかぜハウス」の入居者は、その殆どが「つばさ」等のメンバーさんであることから、各施設が互いに連絡を密にし、サービス・支援に遺漏無きを期するようスタッフ一同、肝に銘じているところでありませぬ。

以上、近況を報告致すとともに、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

障がい者就労促進チャレンジ事業

企業見学会に

参加して

2月22日(水)標記見学会に、つばさから6名

(メンバー4名、スタッフ2名)が参加しました。

当該事業は、一般企業での就職を目指す障がい者に、実際、就労している仕事現場を見てもらい、企業の担当者や就労中の障がい者との意見交換をする場が設けられています。今年度の訪問企業は、(株)シーエックスカーゴ野田流通センターでした。同社は、生協の野田圏域の流通センター

ろを見てきました。作業は簡単で参加したメンバーでも出来る仕事でした。ただ、決められた時間

(9〜17) 午前・午後各15分の休憩 昼食時間45分)以外は、きつちり

作業しないとダメですし、結構作業量が多い状況です。一部流れ作業です

し躊躇している暇はありません。その点では、なかなか誰でもとは行きそ

うもありませぬ。就労中の障がい者

の方との意見交換では、結構楽しく仕事をして

るとの発言がありました。休み時間の過ごし方等も

いろいろ工夫していると

の事でした。一日約8時

間労働ですし、単純作業とは言え、一般の人と変わりありませんので、最低賃金(時給)は保証されているとの事でした。スタッフは、企業担当者と直接意見交換出来たり

して大変参考になりました。参加メンバーも結構興味を持ち、沢山質問し

参考になったことと思

ます。有意義な企業訪問

でした。

(施設長 鳥羽)



春のバスハイク

半年に1回、恒例となつたバスハイク。今回は、穏やかな天気にも恵まれた3月10日に、JAL(日本航空)の工場見学と羽田空港を楽しみました。

バスハイクは、毎日の時間から離れて、別の場所、違った風景に出会える楽しみがあります。大型のバスに乗ることで、いつもとは違った高さの目線での風景にも出会えます。JAL工場見学では、スタンプラリー、キヤビンアテンダント、パイロットの制服を着て写真を撮ることが出来ました。格納庫では、大きな飛

行機があり、目の前であのような大型機を見たのは初めてという方も多く、テンションが上がった方が多かったです。

羽田空港では、美味しい昼食を取った後、ショッピングや展望台ではのんびりと飛行機の離発着を眺める時間を過ごすなど思い思いの時間を過ごすごすことが出来ました。

バスハイクを重ねる度に、たくさんのお出で、写真が増えて行きます。また、皆さんと、元気に楽しくバスハイクに行ける日を楽しみにしています。

(相談 堀口)



お花見会残念

後日、清水公園にて満喫

恒例となつておりまし
た障因連主催のお花見
会(千葉カントリー梅郷
コース)を、今年は残念な
がら取りやめといたしま
した。当日は、風雨が強く
気温も低かつたため、さ
くら見物も一分咲き程度
だし、メンバーさんの健
康等を配慮したとき、当
施設(つばさ、すまいる)
は、参加を見合わせた方
がよいのではと判断をし
ました。関係者の皆さん
そして千葉カントリーの
皆さんには大変ご無礼な

結果となり申し訳ござい
ません。その代わりと言
つてはおかしいですが、
メンバーさんには、4月
6日(木)に清水公園に行
きました。当日は天候に
も恵まれ、爽やかな陽気
のもと満開の桜を満喫し
てもらいました。

(施設長 鳥羽)



良いお天気でしたね

「すまいる」で自主避難
訓練と消防署出張によ
る消火訓練(水の入った
消火器を用いて)を出席
者全員で体験しました。
続いて、3月22日(水)
には、「つばさ」でも実施
しました。「つばさ」で
の訓練内容を少し紹介し
たいと思います。当日は、
午前10時丁度に、台所付
近から出火したとの想定

防災訓練

当法人では、災害対策の
一環として、それぞれの
施設で年2回(通常春・
秋)消防訓練を実施して
おります。

今年2月4日(土)に

は、「グループホーム」

で、3月6日(火)には

で、まず、メンバーさん
全員が作業場から駐車場
奥に避難する訓練を行
いました。その後、作業所
集まり消防署員による
緊急通報の要領説明を
聞き通報訓練を体験しま
した。まず、消防車出動
をお願いする訓練から入
りました。受話器をもつ
て、119番すると「火事
ですか？救急車ですか？」
と聞かれ、「火事です」
と答えると①いつ②どこ
で(住所・電話番号)③
現状はどうか④貴方は無
事ですか等々を聞かれま
す。訓練ですので、体験さ
れた皆さんは、一応、落ち
着いて答えていましたが、
実際では、慌てていて、

自分の住所、電話番号す
ら答えられないことが多
いそうです。難しいこと
かもしれませんが、慌て
ず、落ち着いて、余計な
ことを言わず、正確な情
報を出せるようにするこ
とが大切です。いずれに
せよ、このような状況を
一度でもよいので、体験
しておくことが大切だと
感じました。



実習生からのお礼のお手紙

聖徳大学

加藤 美奈さん

謹啓 この度は、14日間にわたり大変貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。利用者の方、一人一人の目線に立ち、一緒に物事を考えて行く大切さやコミュニケーションを取ることの重要さを、また、支援する立場としての責任の重さを知ることが出来ました。短い期間でしたが、実習を通して、この仕事の大変さとやりがいを感じる事が出来ました。心より感謝いたしました。また、

実際に勤務していただける

支援者の方々の生の声をお聞かせ頂き、活き活きと活躍しておられる姿を拜見できましたことで、精神福祉士として働きたいという思いが一層強くなりました。精神福祉士の国家試験に合格するため、これからも頑張りま

東京福祉大学

平塚 里沙

す。取り急ぎ、お礼を申し上げます。上げたくお便りしました。心のこもった温かい指導を賜りましたこと心よりお礼申し上げます。最後に、貴法人の益々のご発展をお祈りいたします。 謹白

理解することができました。利用者の皆様や職員の方々に親しく接していただいた感謝の気持ちを忘れずに、これからも社会福祉を学んで行きたいと考えております。どうぞ、職員、利用者の皆様に宜しくお伝えください。末筆ながら、貴施設の「ご発展と皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

この度は、私の実習に際しまして、ご多忙中にあるにもかかわらず、ご指導いただきまして、誠にありがとうございます。様々な場所へ同行実習をさせていただき、法人内でのような事を行っているか、また、指導者さんだけでなく、他の職員さんともお話しさせていただき、支援者として着目すべき視点など



敬具

おひさまといっしょに

「第43回おひさまといっしょに」が今年も開催されます。障がいのある人もない人もレクレーションを通して交流し、親睦を深め、ともに生きる地域社会の一員であるという相互理解を深めることを目的に開催するイベントで、今年で43回目を迎える歴史ある大会です。

平成29年6月17日(土) 午前10時30分から 関宿総合体育館にて行われます。どうぞ、多数の皆さんの参加を願っています。

(つばさ 丸山)

研 修 報 告

平成 29 年 3 月 28 日世

話人講座の研修会が開かれ、当グループホームの世話人さん 6 人が参加しました。皆さんから研修レポートを提出していただいておりますが、今回はその中から大谷千枝子さんのレポートをご紹介します。

テーマ「障がいの理解・大人の支援を考える」

障がいの理解は、なかなか難しく、なぜなら、障がいの現れ方は、人それぞれに違いがあり知的・精神・身体・難病等々で人が持つ、基本的特性が何

であるのか、見立ての重要性で支援の仕方が変わるなど、また、人間関係の難しさや分かってもらえない辛さ等、行動だけを見て、内面が見られない障がいに間違った判断をしてしまうなど、障がいは、かように多面的な面を持つていること等を理解しました。充実したお話しでしたが、知識不足の私には大変難しく感じました。

(B棟世話人 大谷)



お知らせ

5月27日(土)総会があります。

会員の皆様には、総会の案内と出欠席の用紙及び29年度会費の振込用紙を同封いたしましたのでご確認おねがいします。

編集後記

3月27日(月)、障団連の千葉カントリー梅郷コースのお花見会、雨で見送りとなり残念でした。

しかし、その後皆さんで行った清水公園の桜は見事でしたね。陽気も良く、皆さん楽しんでくれたことと思います。来年こそゴルフ場でのお花見会に参加したいですね。

